

エコ内窓 プラマード U 引違い窓 戸先錠仕様

現 調 編

本マニュアルは専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

本マニュアルは引違い窓 戸先錠仕様の現調方法を説明しています。
他の窓種・仕様の現調方法については、プラマード U【現調編】マニュアルを
参照ください。
ふかし枠の現調方法については、ふかし枠【現調編】マニュアルを参照ください。

目 次

■引違い窓 戸先錠仕様 仕様の説明と各部の名称	1
■現調時確認事項.....	2
■必要工具.....	3
■オプション品.....	3
■開口部の確認・開口寸法の測定.....	4～8
■戸先錠標準位置.....	9
■干渉確認ツール.....	10

引違い窓 戸先錠仕様 仕様の説明と各部の名称

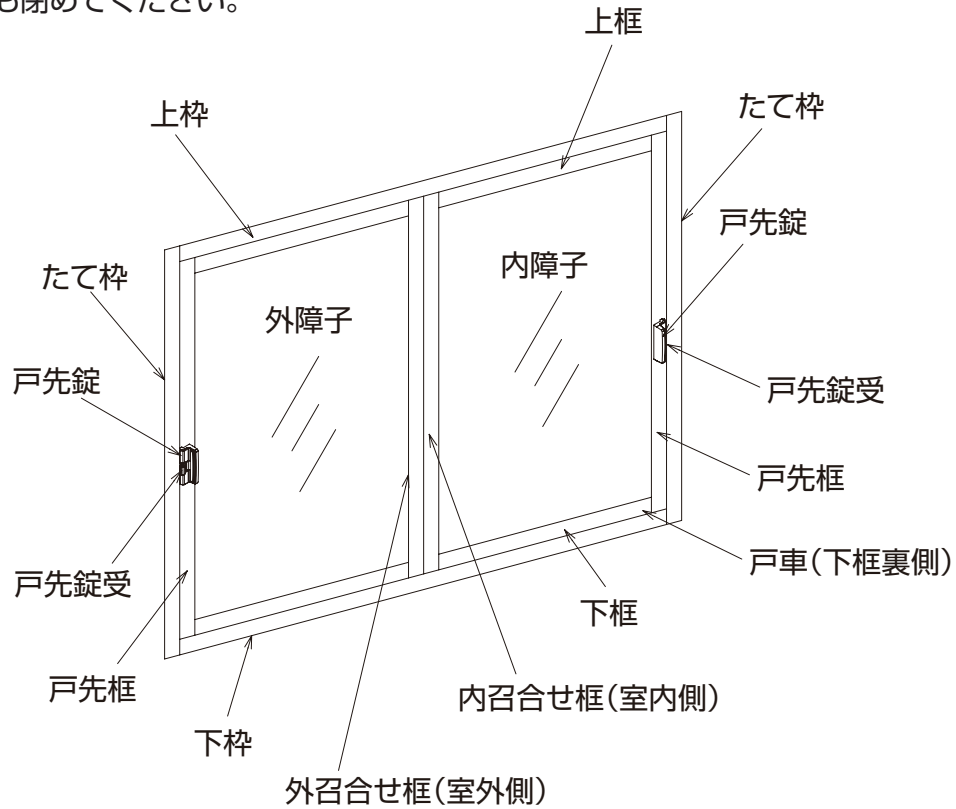
■引違い窓 戸先錠仕様

引手とカギが一体化になっています。

窓を閉めると自動的に鍵がかかります。

※本商品は、侵入、盗難防止等、防犯を保証するものではありません。

必ず外窓の鍵も閉めてください。



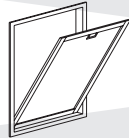
現調時確認事項

外窓の窓種の確認・納まりの確認（施工の可否判断）

内側に倒れる窓
内側に開く窓
内側に造作を施してある窓

●以下の窓には取付けできません。

内倒し窓



回転窓



内開き窓



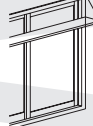
エアコン付き



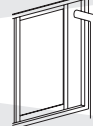
換気扇付き



棚付き



煙突付き



1. 開口部の確認



一般納まり
(大壁・真壁)

2. 開口寸法の測定
一般納まりの場合
(対応の可否判断)

⇒P.4~8参照



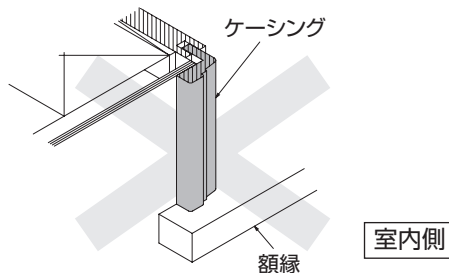
カーテンの有無
ブラインドの有無
内部網戸の有無
外窓クレセント出寸法

3. ふかし材の要・不要の確認
(25・40・70)

⇒ふかし枠【現調編】マニュアル参照



ケーシングタイプでふかし材が必要な
場合は取付けできません。



4. ふかし材補強の確認

⇒ふかし枠【現調編】マニュアル参照



5. お施主様への説明



ふかし枠の必要性
補強の必要性
特殊納まり

6. 搬入口、室内側の出っ張り、作業スペースの確認

必要工具

- ・メジャー
- ・内測目盛付メジャー
- ・下げ振り
- ・水準器
- ・カメラ
- ・曲尺
- ・レーザー測長器

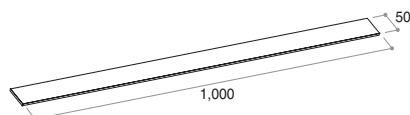


内測目盛付メジャー

オプション品

施工調整スペーサー

4種類の厚みを選べるポリプロピレン製のスペーサーです。

形状					
タイプ	厚さ	幅×長さ	色	記号	枚数/梱包
t=0.5	0.5	50×1000	乳白(半透明)	YS 2K-29658	10
t=1	1	50×1000	ホワイト	YS 2K-29621	20
t=3	3	50×1000	ブルー	YS 2K-29622	20
t=5	5	50×1000	ホワイト	YS 2K-29623	10

メンテチューブ

隠し釘跡の補修などちょっとしたすき間を埋めるのに便利なチューブタイプの補修剤です。

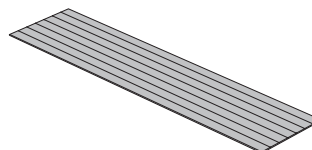


記号	商品色
TY K-44578 □-1E	C、N、B、R、A、Y、L、JN、W

- 記号の中の□に商品色をご指示ください。
C:クリア N:ナチュラル B:ブラウン R:キャメル A:アンバー
Y:ダークブラウン L:ライトオーク JN:白木 W:ホワイト

調整材

厚さ1mm、ピッチ10mmで切取溝が入っており、様々な用途に使用できる樹脂製の部材です。



長さ	記号
1000	□PK-51499-1000
2000	□PK-51499-2000

- 記号の前の□に商品色をご指示ください。
E2:木目クリア E3:木目ナチュラル
E9:ミディアムオーク CM:ダークブラウン
DC:グレイ YW:ホワイト
- 厚さ1mm。見込幅70mm。

シーリング材

額縁とブラマードU枠とのすき間隠しにおすすめのシーリング材です。調整材と併用してご使用ください。



記号	商品色
□QYA SE-5400	B1・B7・S1
□QYA SE-5410	H2・YW

- 梱包単位 10本/箱
- 当社営業窓口までFAX発注してください。
- 記号の中の□に商品色をご指示ください。
B1:アンバー B7:ブラック H2:ライトグレイ2
S1:グレイ YW:アイボリー

4 開口部の確認・開口寸法の測定

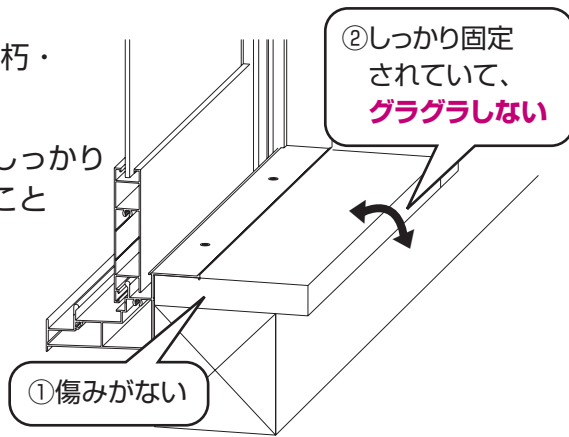
開口寸法の測定

①窓台の強度を確認してください。

本商品の障子最大重量は約30kgです。
取付面の木額縁が商品重量を支えられる事を確認してください。
受けられない場合、**障子脱落の可能性**があるため、木額縁を木ねじや造作材などで補強してください。

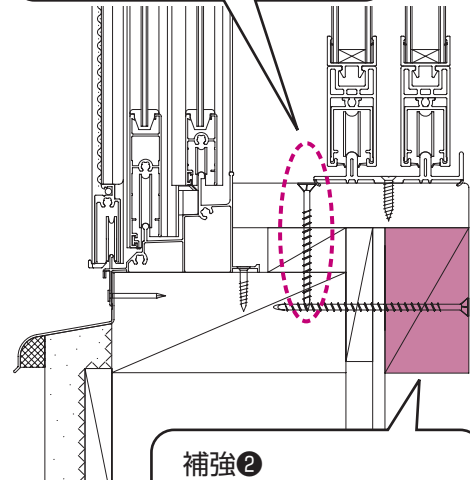
【確認事項】

- ①木額縁に傷み(腐朽・割れ)がないこと
- ②木額縁が窓台にしっかり固定されていること



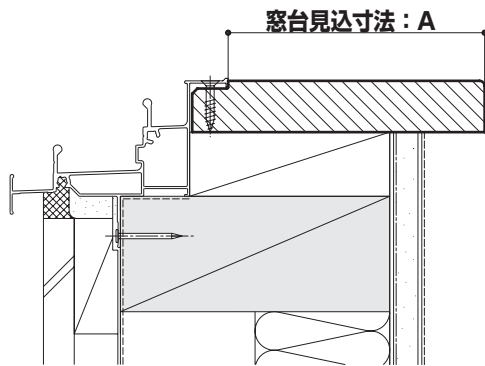
補強例

補強①
木ねじで木額縁を固定する
(躯体にねじを効かせる)



補強②
造作材などで木額縁を受ける

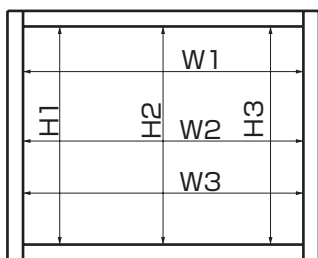
②窓台見込寸法を測定してください。



ふかし枠の要・不要	
$73 \leq A$	→ ふかし枠不要
$45 \leq A < 73$	→ ふかし枠25を使用
$30 \leq A < 45$	→ ふかし枠40を使用
$A < 30$	→ ふかし枠70を使用

- 外窓のクレセントが内窓にあたらないように取付けてください。
(クレセントの回転軌跡や、外窓の内召合せ框の見込み寸法によっては、窓台必要寸法が変わります。)
詳細は外窓のクレセントとの干渉確認(P.5・6)を参照してください。
- ふかし枠を使用する場合は、**ふかし枠[現調編]**マニュアルを参照してください。

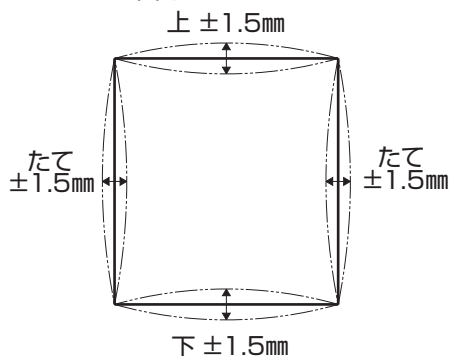
③H1～H3およびW1～W3の最低3ヶ所を採寸し、最小寸法をW、H寸法としてください。



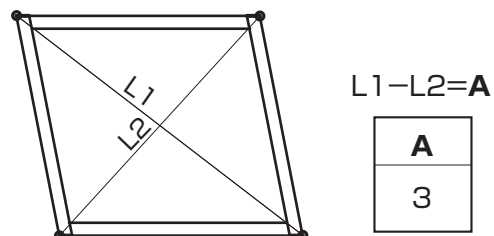
注意

- 採寸ミスがないように2度の測定確認をお願いします。
- メジャー測定やレーザー測定を行ってください。
- 採寸した**最小W、H寸法をそのまま発注**してください。
それより小さい寸法で発注すると、施工後障子がかたつくおそれがあります。

- 上下左右のたわみが図に示す範囲内であることを確認してください。



- 枠の対角差が3mm以内であることを確認してください。



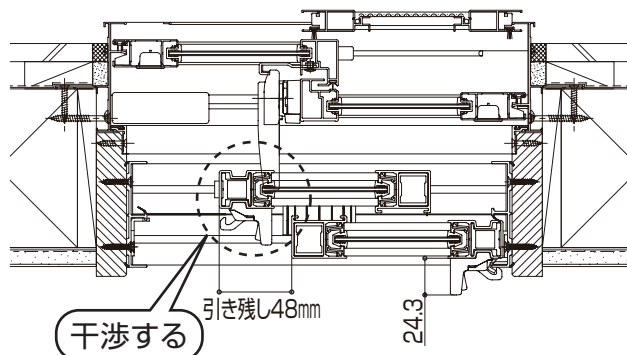
開口部のたわみ量が範囲を超えている場合は、枠との間に調整材を入れて調整してください。
その際、できたすき間は、シーリング材で塞いでください。

外窓のクレセントとの干渉確認

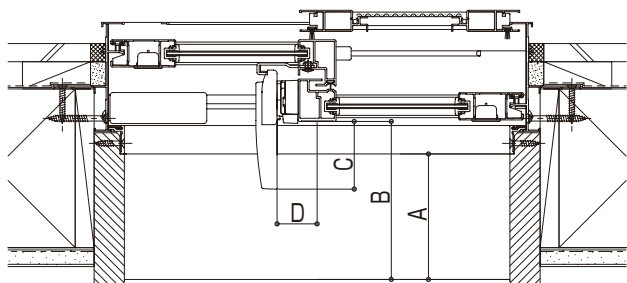
戸先錠仕様は引き残しがあります。内窓の取付け位置により、外窓のクレセントの柄が内窓と干渉し施解錠できない場合があります。

以下のA,B,C,D寸法を採寸時に確認し、干渉を事前に回避してください。

■戸先錠引き残しによる干渉

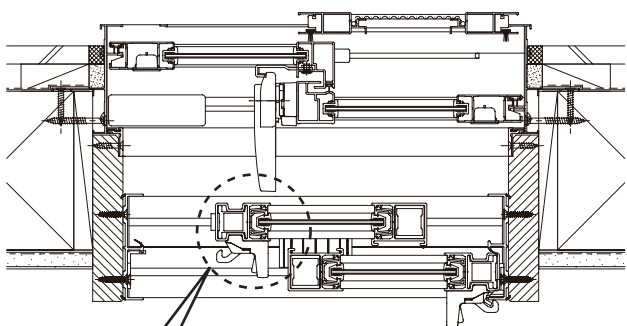


■戸先錠仕様 外窓クレセントの干渉回避 採寸のポイント



- A : 木額縁の見込寸法
 B : 内召合せ框から木額縁室内面までの距離
 C : クレセント柄の内召合せ框からの出寸法
 D : クレセント柄の側面から内召合せ框中心までの距離

正(左)勝手の場合

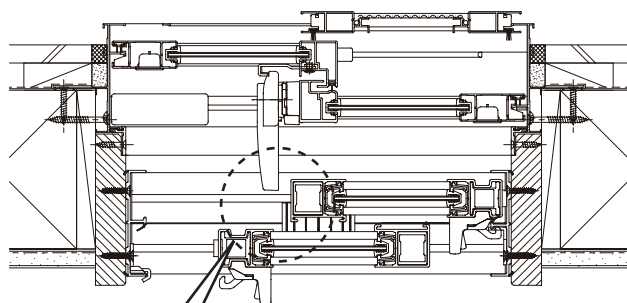


干渉しない



額縁見込寸法が小さく、外窓クレセントの柄が内窓にぶつかってしまう場合、逆(右)勝手にすると回避可能な場合があります。

逆(右)勝手の場合



干渉しない

A,B,Cを測定し、①②の条件を満たしていればクレセント施解錠時に、外窓クレセントの柄が内窓にぶつかることはありません。

- ① $A \geq 73$
 ② $B - C \geq 73$

※①で木額縁の見込が足りず、ふかし枠を使用した場合

- ふかし枠25 : $(B+25) - C \geq 73$
 ふかし枠40 : $(B+40) - C \geq 73$
 ふかし枠70 : $(B+70) - C \geq 73$

A,B,C,Dを測定し、①②③の条件を満たしていればクレセント施解錠時に、外窓クレセントの柄が内窓にぶつかることはありません。

- ① $A \geq 73$
 ② $B - C \geq 35$

※①で木額縁の見込が足りず、ふかし枠を使用した場合

- ふかし枠25 : $(B+25) - C \geq 35$
 ふかし枠40 : $(B+40) - C \geq 35$
 ふかし枠70 : $(B+70) - C \geq 35$
 ③ $D \geq 25$

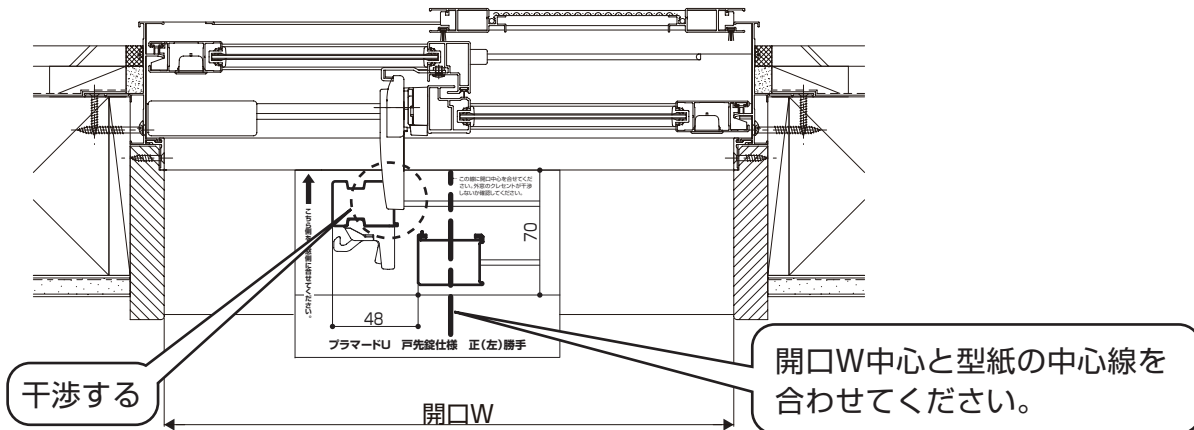
●ふかし枠を使用する場合は、**ふかし枠【現調編】**マニュアルを参照してください。

6 開口部の確認・開口寸法の測定

外窓のクレセントとの干渉確認

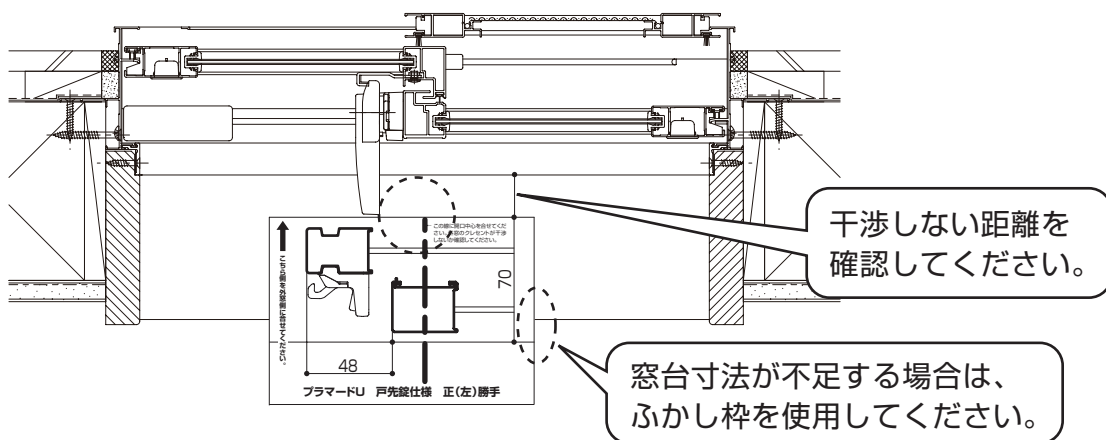
干渉確認ツール(P.10)を使用して、外窓のクレセントとの干渉を確認することができます。開口Wの中心と型紙の中心線を合わせ、外窓のクレセントが干渉しないか確認してください。

- ① プラマードU下枠を取付けようとする位置に干渉確認ツールをセットしてください。

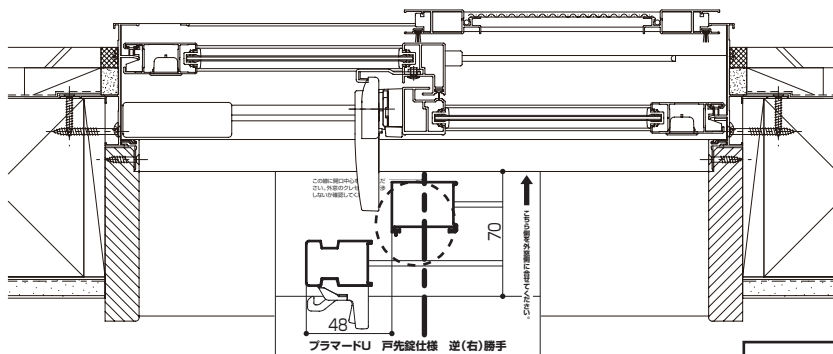


【外窓のクレセントが干渉する場合】

- ② 干渉確認ツールを離していき、何mm離せば干渉しないか確認してください。



- ③ 逆(右)勝手に干渉しないか確認してください。



- ④ 測定結果をもとに、取付位置を決定してください。
※窓台寸法が不足する場合は、ふかし枠を使用してください。
●ふかし枠を使用する場合は、ふかし枠【現調編】マニュアルを参照してください。

ふかし枠70を使用しても外窓のクレセントと干渉する場合、戸先錠仕様を納めることはできません。その場合、戸先錠仕様より引き残しの少ないクレセント仕様での検討をお願いします。

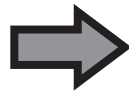
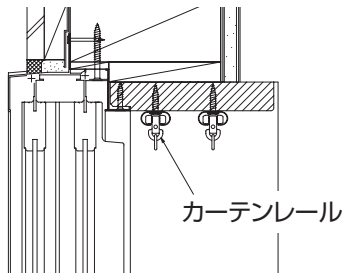
カーテンレール・カーテンボックス付の場合

注意

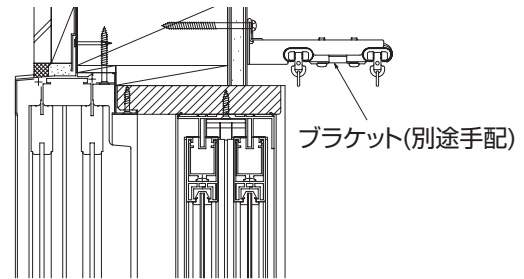
カーテンレール、ブラインド、カーテンボックスの取付状況は、現場により異なります。移設の際は、下地有無等を確認してください。また、移設により既存カーテンの長さの不足・調整が発生する場合がありますので、確認してください。

●カーテンレール、ブラインドが木額縁内にある場合

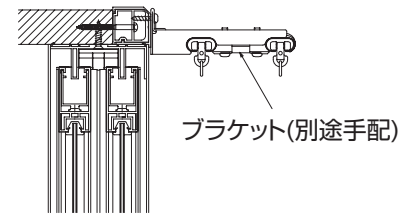
カーテンレール、ブラインドと干渉する場合は、お施主様に相談の上、カーテンレール、ブラインドの位置を移動させてください。



<例：カーテンレールを移設>



<例：カーテンレール対応ふかし枠を使用>

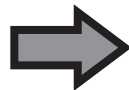
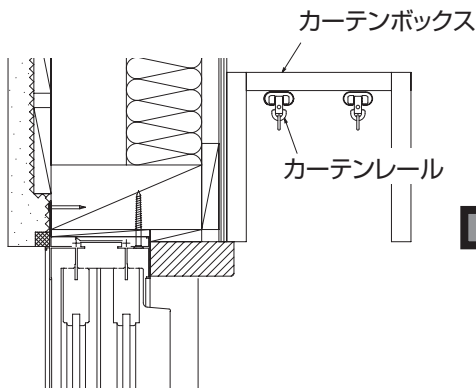


お願い

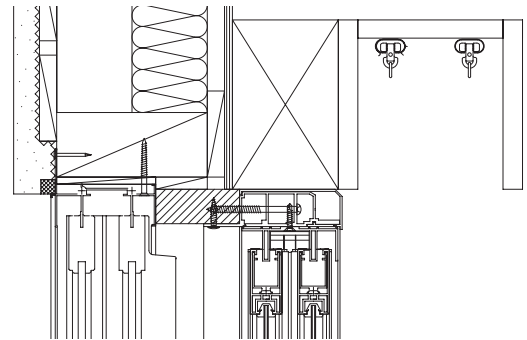
カーテンレール移設後、既存のねじ穴が残る場合は、メンテチューブ等を別途手配し補修してください。

●カーテンボックスがついている場合

カーテンボックスと干渉する場合は、お施主様に相談の上、取付位置を決めてください。



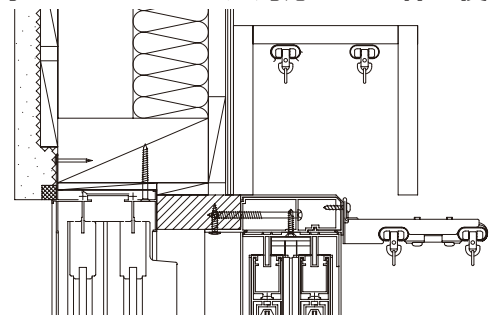
<例：カーテンボックスを移設>



注意

別途、木造作工事・内装工事が必要となります。

<例：カーテンレール対応ふかし枠を使用>



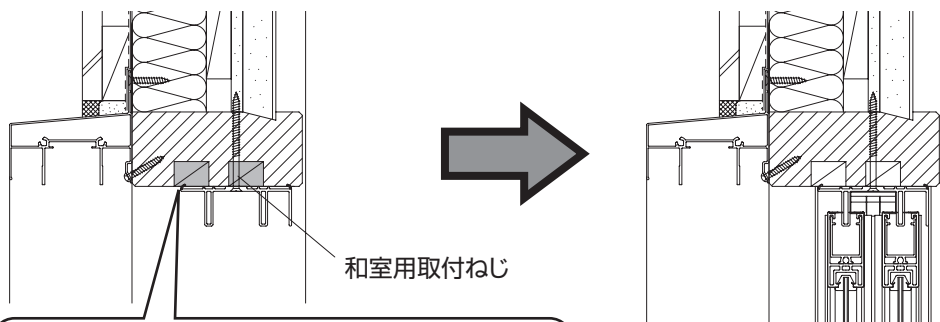
●ふかし枠を使用する場合は、ふかし枠【現調編】マニュアルを参照してください。

8 開口部の確認・開口寸法の測定

和室に取付る場合

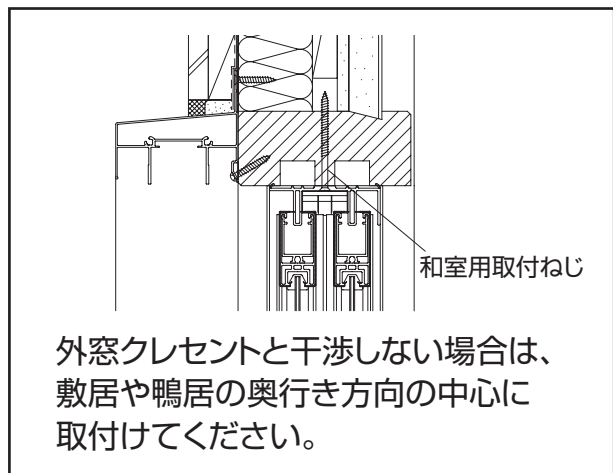
和室障子を使用するかどうかをお施主様に確認してください。

●和室障子を使用しない場合



和室用取付ねじ

鴨居や敷居のレール溝を現地で埋め、和室取付用ねじ（オプション品）を使用して上枠を取付けてください。

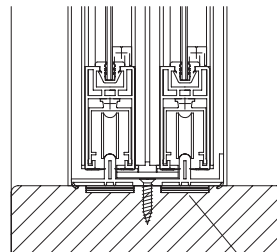


和室用取付ねじ

外窓クレセントと干渉しない場合は、敷居や鴨居の奥行き方向の中心に取付けてください。

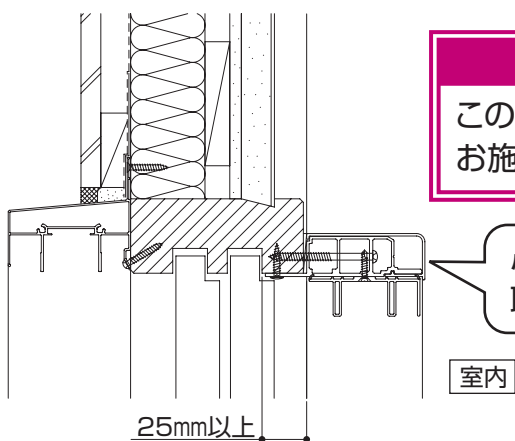
●下枠部

敷居レール溝を調整材で埋め、必ず平らな部分に取付けてください。



調整材

●和室障子をそのまま使用する場合



25mm以上

室内

注意

この場合、内窓が室内側に出ることをお施主様に説明してください。

ふかし枠を使用して内窓を取付けてください。

25mm以上あることを確認してください。

●ふかし枠を使用する場合は、**ふかし枠【現調編】**マニュアルを参照してください。

戸先錠 標準位置

引違い窓		
開口H	戸先錠 標準位置※	オーダー可能 戸先錠位置
250≦H< 300	95	—
300≦H< 400	120	95~120
400≦H< 500	170	95~170
500≦H< 600	220	125~220
600≦H< 700	270	175~270
700≦H< 800	320	225~320
800≦H< 900	370	275~370
900≦H<1000	420	325~420
1000≦H<1100	470	375~470
1100≦H<1200	520	425~520
1200≦H<1300	570	475~570
1300≦H≦1400	620	525~620

※標準位置より95mm下までオーダー可(最下端位置は95mmまで)

干渉確認ツール

表示通りに印刷されていることを確認の上、使用してください。

